



TITLE:

2)「研究開発コロキウム」報告〔要約版〕：〔グローバルCOE〕採択：関係性(家族間・世代間)としての生涯発達--ナラティブ・アプローチからその変化プロセスを捉える--

AUTHOR(S):

荘島, 幸子; 竹家, 一美; 鮫島, 輝美; 西山, 直子

CITATION:

荘島, 幸子 ...[et al]. 2) 「研究開発コロキウム」報告〔要約版〕：〔グローバルCOE〕採択：関係性(家族間・世代間)としての生涯発達--ナラティブ・アプローチからその変化プロセスを捉える--. 研究開発コロキウム: 平成20年度 成果報告書 (Colloquium for Educational Research and Development) 2009: 18-19

ISSUE DATE:

2009-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/143132>

RIGHT:

## 関係性（家族間・世代間）としての生涯発達 ——ナラティブ・アプローチからその変化プロセスを捉える——

莊島 幸子・竹家 一美・鮫島 輝美・西山 直子

### 1. はじめに

今日、個人や家族、日本社会を取り巻くさまざまな状況が、急速に変化を遂げる中で、改めて人間の発達を捉え直そうとする試みが盛んになされてきている。乳幼児・児童・青年を対象として、身体的・精神的・社会的成長に伴う変化を見ることを目的としていた従来の発達心理学は、中年期・老年期まで広げて、認知的にも学的知だけでなく生活知のあり方として多面的知能の面から、生活史・伝記的要素も取り入れて個人特異的要因を考慮した多面的な人間理解を行おうとする生涯発達心理学視点を取り入れることで、人間が生涯を通して社会のなかで生きていく営みを捉えることが可能になりつつある。また、生涯発達研究に大きく寄与したアイデンティティ論者のエリクソンは、個人の自我が他者との相互的な関わりの中から現われることを強調し、人格発達における他者との関係性の役割を重視した。

しかし、個人を他者との関係から捉えんとする研究は、近年になってようやく萌芽的段階を迎えつつあるといえ、個人のあり方にとって他者との関係性が持つ意味が今後ますます重要視されるようになることが予想される。

### 2. 研究目的

本研究では、家族（親子関係や夫婦関係）や世代（祖母―母―娘など）という他者との関係性を取り上げ、そのような関わりの中から営まれる人の生涯発達を捉えることを目的とした。具体例として、①性別を移行しようとする子どものいる家族（莊島）、②子どもを持たない、特に、不妊治療を経て「子どものいない人生」を選択した夫婦（竹家）、③在宅で高齢者を介護する家族やそれを支えようとする住民といった地域における特殊な関係性（鮫島）や、④母系に注目した世代間関係（西山）を研究テーマとして扱った。このようなテーマを研究に取り上げることで、人が時間の流れのなかで他者と

ともに変化していくプロセスを明らかにすることを目指した。

### 3. 研究方法

他者との関係性ならびにその関わりのなかに生きる人々をすくい取る研究アプローチとして、本研究ではナラティブ・アプローチの方法に依拠した。その理由として、ある個人のナラティブは、相互行為のなかで語られるため、本質的に個は他者に媒介され、関係概念とみなされるということが挙げられる（自己が個ではなく、他者を媒介に生成されるという考えは、多くの哲学に共通する自己観である）。また、ここでの他者とは具体的な他者だけではなく、文化や社会といった歴史的文脈も包含している。このような視点は、まさに生涯発達心理学における「人が、時間の流れのなかで他者とともに変化していくプロセス」を扱うという目的と合致するものである。

### 4. 結果と考察

結果と考察では、本研究開発コロキアムのメンバーが各自で行った研究成果について報告する。

（１）では、性別を移行しようとする子どものいる家族として、「性別の変更を望む我が子からカミングアウトを受けた母親による経験の語り直し」の研究結果を述べた（荘島）。子からのカミングアウトに際して、これまで見知ったことも自らが経験したこともない独特な発達過程をもつ我が子と直面した親が、子への暴力行為にも及びかねないほどの状況を意味づけ、語り直す過程を生涯発達の観点から検討した。

（２）では、子どもを持たない夫婦として、「子どものいない夫婦関係の生涯発達：当事者が語る不妊経験による変化と意味」の研究を報告する（竹家）。不妊経験が夫婦関係においてどのようなプロセスを辿り、現在どのように意味づけられているのかという視点から、夫婦関係の変化・発達の様相を探り、子どものいない夫婦の関係性の生涯発達について理解を深めた。

（３）では、アクションリサーチを土台とした地域での「高齢者が支えあう住民運動」について検討する（鮫島）。住民運動における医療者と住民の関係性、つまり「世話する者」と「世話される者」の関係性に注目し、抽出された「明日は我が身」という語りの中の相互作用のダイナミック性について理論的考察を行った。

（４）では、母系の世代間関係に着目して、「母世代から見た祖母—母—娘三代の関係性：イメージ画とインタビューを通して」と題した研究の概要を報告する（西山）。本研究は、母系の世代間関係に着目し、特に中年期母世代から見た「祖母—母—娘」三代の関係性を、イメージ画とインタビューという二つの異なった形式のナラティブを通して明らかにした。